

近畿大学奈良病院では

「半夏厚朴湯のパニック症に対する効果の後ろ向き調査研究」を行っております。

<登録・研究の目的と意義>

パニック症は、特定の場面を避けるようになっていたり、外出困難になるなど、生活に制限を生じ、患者様の日常生活機能と QOL を著しく低下させます。うつ病等の併発を招き、循環器疾患等身体疾患の悪化も起こしうる疾患です。治療としては抗うつ薬が用いられますが、抗うつ薬を副作用のため使用できない患者様もおられ、抗うつ薬以外の治療法の開発も必要となっています。

今回、漢方薬である半夏厚朴湯でパニック症を治療された患者様について、後ろ向き調査研究を実施することにより、半夏厚朴湯のパニック症への効果と安全性について検証致します。

<登録・研究の方法>

2017年4月1日から2021年3月31日に半夏厚朴湯でパニック症を治療された患者様を対象とします。治療前の症状と、治療後の改善の有無について比較検討致します。データは近畿大学奈良病院メンタルヘルス科が集計分析し、結果を学術集会・学術論文に報告致します。詳しくは主治医にお聞きください。

<倫理的配慮について>

登録頂いたお名前やご住所などの個人を特定できる情報は入力いたしませんので、病院外に個人情報が出ることはなく、個人が特定されることは一切ありません。また、この入力は当院の医師と決められたスタッフのみが担当しますので、患者様のプライバシーは守られます。

この登録・研究のデータベースに登録されるのを希望されない場合は、お手数ですが下記へご連絡ください。

連絡先：近畿大学奈良病院 メンタルヘルス科 大山覚照

電話 0743-77-0880（代表）